

第314号

こうげん

発行 高原公民館（〒696-0406 邑南町高見 3014-3）電話 0855-84-0521 / IP 電話 050-5207-5500

2021年
3月号

今月の紙面一覧

1. 仕事、趣味をもっと便利に、楽しく♪
2. 社会教育フォーラム
桜まつりについて

高原地区 人口と世帯数

男 性	389人 (405人)
女 性	418人 (432人)
合 計	807人 (837人)
世帯数	345世帯 (348世帯)
高齢化率	46.22%

令和3年2月末現在
(カッコ内前年同月)

2月22日（月）には「やってみよう！つながってみよう！ZOOM講座」を矢上公民館と合同で開催。「ZOOMって何？という説明からZOOMの使い方の説明や実際に矢上公民館で参加している方とZOOMでつながり、お話や簡単なゲームをして体験しました。

仕事、趣味をもっと便利に、楽しく♪

ZOOM講座&スマホカメラ講座開催

パソコンやスマホなど最近、身近に便利な機械が増えてきました。そして、昨年から自宅など職場以外で仕事をする「テレワーク」という言葉を聞く機会が増え、色んな便利な道具やソフトが出てきました。

例えば、離れた場所にいる人とテレビ電話のよう

に映像と音声での会話、資料の共有などができるZOOM（ズーム）、電話以外に、まるでデジカメラやパソコンを一つにまとめたかのように様々な機能があるスマホ、などなど。しかし、使い方も複雑で、どうしたらいいのか分かりにくいものです。そこでこのたび、2つの講座を開催いたしました。



そして、2月28日（日）にはスマホカメラ講座を開催。江津市のフォトグラファー、につたつちさんを講師にお招きしスマホで写真を撮る時の設定や簡単なコツを教えてくださいました。どちらの講座でも、説明を聞きながら実際に使ってみることで、「こんなに簡単にできるんだ!!」と驚きの言葉が聞こえてきました。なかなか遠方の方と会うことが出来ない今、コミュニケーションやつながりを持つ機会として便利なものを活用して、日々の生活が少しでも楽しい、便利なものになっていくと良いですね。来年度も継続して実施を考えていますので、実施の際にはぜひご参加ください。



よっちゃん館長の「今日の頃」

新型コロナウイルスの変異型の感染が拡大を見せ、徐々に西日本に迫ってきました。島根県ではこのところ陽性者の発表が少ない状態ですが、迫りくる変異ウイルスに感染しないよう対策を継続しましょう。

島根県知事は歓送迎会シーズンを迎え、「9人以下、1時間半まで」

の基準を示して「できるだけ飲食店へ行ってください」と呼び掛け、新型コロナウイルスの緊急事態宣言の影響による過度な自粛を緩和し、売り上げ減にあえぐ飲食店を支援する狙いを表明しました。気持ちはよくわかりますが大丈夫でしょうか？私個人的にはワクチン接種の状況を見てからでもないのではないかと思います。それよりも国はもっと持続化補助金などによる支援に力を入れるべきではないでしょうか。

ところで、12月定例会やこの度の3月定例会で公民館の在り方につ

いての一般質問が相次ぎました。その中で「主事は…、主事が…」と主事のことばかりが議論されているように思われました。しかし主事たちは本当に日夜頑張っており頭が下がります。公民館には非常勤で私み

春キャベずび

「はんにゃ野菜」

だんだん暖かい日も増え、春を感じるようになりましただね。春も美味しい食材が沢山、その中からキャベツを使った野菜プラス1のレシピをご紹介します。

食卓にこうげん
今月の
いっぴん

（材料）
キャベツ…約50グラム
（葉1枚弱くらい）
ごはん…200グラム
ごま…お好みの量
ごま油…少々
塩…小さじ1/2
醤油…1〜2滴

①キャベツをざく切りにして耐熱ボウルに入れ、少量の水を入れレンジで加熱します。

②加熱後のキャベツと残りの材料を全部混ぜておにぎりにして完成！



今月の「こうげん」からUDフォント（ユニバーサルデザイン）に変えました。少しでも読みやすくなるといいな、と思います。そして、どうすれば読んでもらえる、読みやすい紙面になるかを日々研究中です。みんなに読んでもらえ

(上田)

お知らせ広場

第32回星が丘桜まつりの中止のお知らせ

日ごとに温かさを感じられるようになりましたが皆さま方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、恒例の「星が丘桜まつり」について、残念ながら昨年引き続き今年も中止することいたしました。

桜まつりの開催はご来場の皆さまからのお花で支えられており、入場制限等を設けることが難しい状況です。また、まつりの醍醐味は地域の皆さんにお集まりいただき、神楽やバザーでの飲食を楽しみながらゆっくりとひと時を過ごしていただくことと考えていますが、皆さまに安心してまつりを楽しんでいただくことが現時点では難しいと判断いたしました。2年続けての開催中止となり大変残念ではありますが、ご理解を賜りたいと存じます。

なお、参道等の桜の防除等、活動は続けて参りますので引き続きよろしくお願いいたします。



高原の桜を守る会

毎月19日は「食育の日」です



「食育の日」は平成17年の食育推進基本計画の策定に伴い、食育を国民運動として推進するために定められました。食育の日は

「食（しょく）」の読みが しょ→初→1 <→9 につながることで、「育（いく）」の読みが「19」になること

ら毎月19日を「食育の日」としております。

- 「孤食」をしない
- 家族や友達とそろって楽しく食卓を囲もう
- 家族で一緒にご飯を作ってみよう
- きちんと朝ご飯をとろう
- 感謝の気持ちを込めて、「いただきます」「ごちそうさまでした」を言おう。

など、自分や家族の「食」について考える

一日にしてみましょう。【食育の日について問合せは】

生涯学習課 83-1127 (IP 050-5207-5100)



公民館にお越しの際にぜひご覧ください。ステキな作品をありがとうございました。

「寄贈 いただきました」
ますます公民館の中が賑やかになりました
♪
手仕事倶楽部の皆さんよりいただいた可愛いひな人形（写真左）を玄関すぐのカウンターに、竹添弘幸さん（八色石）よりいただいたかずら橋！



可愛いおひなさま♪

「コロナに負けない高原」宣言書

依然猛威を振るう新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の恐怖から、これまでの人と人の関係や地域の関係が壊されないために、次のことを宣言します。

一、その人を想い、大変な時だからこそ
助け合いの気持ちを持って行動しよう

一、「しんどいのはお互い様」の気持ちで
責めるのではなく励まし合おう

一、感染症対策で頑張る人たちに感謝しよう

人と人が互いに思いやれる優しい地域、高原を目指してここに宣言いたします。

ありがとうございます
ご協力いただきます



公民館工事完了

かねてよりお知らせしておりました公民館の各種修繕工事が全て完了いたしました。

玄関前の破損したタイルを撤去し、撤去した場所にはモルタルを入れ、滑りにくい加工を施していただきました。また、1階にある和式トイレを洋式に（併せて扉の付け替え）をしていただき、便座の蓋の自動開閉機能がついた温水洗浄便座になりました。

工事期間中、公民館利用時にご不便をおかけいたしました。ご協力いただきありがとうございました。

第314.5号

2021年3月

こうげん

社会教育フォーラム in 邑南
増刊号

発行 高原公民館（〒696-0406 邑南町高見 3014-3）電話 0855-84-0521 / IP 電話 050-5207-5500

令和2年度 社会教育フォーラム in 邑南

初のリモートでの開催 From 高原公民館

テーマ

「歴史ある公民館の新しい可能性を探求し
公民館のさらなる充実をめざして」

社会教育って何？

そもそも…

学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む）である。

結局の  ところ・・・

- 対象が決まってない（＝自由に決めれる）
- 内容・方法が決まってない（＝自由に決めれる）
- 参加を強制できない（＝自由に参加できる）

学びたいと思うこと（＝個人の要望・要求課題）や学ばなければならない（＝社会の要請・必要課題）をカタチにしていけるものです。



課題を解決する力やつながりを作り、地域全体が
「こうありたい」というカタチに近づけていく

高原公民館の「こうありたい」と考える地域のカタチは、

誰もが元気で楽しく暮らせる社会づくりへの支援

「公民館」は「幸民感」と思える「幸民館」を目指す

＝

住んでよかったと思える、住む人みんなが

幸せな「高原」をみんなで作っていく

町内 12 公民館の 1 年の学習や活動の成果を発表する「社会教育フォーラム in 邑南」例年、一同に集まってワイワイ話をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大リスクを避けるためには例年通りの形では実施が出来ませんでした。そこで各公民館を主会場にして、Zoom（ズーム）を使用して会場同士をつないだ形での開催となりました。前半は、公民館主事が 3 つの提言をそれぞれチームで考え発表しました。

- 人づくりについて（テーマ全体の説明）
- 学社連携（中学生の公民館事業への参加促進について）
- 地区別戦略事業の中での公民館の役割

この提言から、講師による総評と内容の深堀をしていきました。講師には豊田庄吾さん（隠岐國学習センター長）と岩本悠さん（島根県教育魅力化特命官）をお招きし、それぞれご意見をいただきました。多くのご意見をいただきました。

- 「変えたくない事」「変えたい事」は何か？（公民館の核となる想いを明確にする）
- 変える事は怖い、`試しに、変えてみる。（戻れると思えばやりやすくなる）
- 自分たちだけでなく、他者と一緒に未来を考えていく。（考える過程を開く）
- 誰がやる？問題→まずは自分がやってみる。小さく実践、とにかくやってみる。

後半は各公民館での分科会、高原公民館では「やりたい事」「夢」をテーマに話をしていきました。話の中で、特に「子どもが参加しやすい、したいと思う公民館活動」の話で盛り上がりました。まとめたものが次のとおりです。

- 自分が考えたことが具現化すると、感動する。
→小学生の時に考えた事が形になると、中学、高校にいつても地域に関わる一つのきっかけになると思う。
- すぐに全員集まらなくても、一人ずつでも来て活躍できれば、それが一歩前進になる（小さなことからでも）
- 一人一人が主役で、一人一人がお客さん。
- 「やりたい」を支える土台、特に子どもの「やりたい」を大人たちが支える事が、これからの地域につながっていく。
- 失敗も学びの一つ。
- 主催者も楽しめないと、続けることが難しい。

今回いただいたご意見や想いをもとに、来年度以降の公民館活動、公民館のあり方を考え、実行していきたいと思います。